

評価シート（年度評価）

久屋大通庭園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	公益財団法人名古屋のみどりの協会		
主な業務内容	久屋大通庭園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市中区大須4丁目4番1号		
評価対象期間	令和4年4月～令和5年3月	指定管理期間	平成26年4月～令和6年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制 維持・管理運営等	1 管理体制	適切な職員配置	○	
		緊急時の体制	○	
		人材育成	○	
	1 維持管理	園内清掃	○	都心の憩いの場、交流・にぎわいの場として、年間計画に沿って、安全を意識した樹木管理、雑草のない美しい花壇管理を実施した。 回廊床タイルやベンチの修繕はじめ、利用者の安全・利便性に配慮しきめ細かく維持管理を実施するとともに、毎週1回花ボランティアと花の植替えや花がら摘みなどを実施するなどボランティアと連携して取り組んだ。
		樹木・花壇等の管理	◎	
		建物・設備の管理	○	
		保守・点検・小修繕	○	
		管理水準の維持	○	
		関係書類の調製・保管	○	
		市民との協働による活動	○	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	
		利用者ニーズの把握と反映	○	
		接客・接遇向上の取組	○	
		苦情・要望に対する適切な処理	○	
		個人情報の適切な管理	○	
	3 魅力増進・利用促進	まちづくりへの貢献	○	あいち花マルシェ2022への参画はじめ、新しいターゲットを対象としたイベントを開催した。
		周辺地域や他施設との連携	○	
		イベント、広報、PR	◎	
	4 施設特有の管理	庭園管理	◎	赤いスイートピーの配置、花束のように咲かせたチューリップ、トケイソウとチョウマメによる「みどりのタワー」、パラグアイオニバスの展示など季節に合わせた花壇や庭園づくりに努め、1年を通して楽しめる工夫を図った。 また、飲食メニューの工夫等により収入増となった。
		レストラン等営業施設の運営	◎	
	5 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	
		集客対策への効果	○	
自己評価	1 自己評価	利用者数の増加	◎	利用者数は、目標の60万人には届かなかったが、前年比118.7%と増加した。
		法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析	○	

【総合評価】

赤いスイートピーの配置、花束のように咲かせたチューリップ、トケイソウとチョウマメによる「みどりのタワー」、パラグアイオニバスの展示など季節に応じた庭園を作り、平日・休日問わず一年を通して来園者に快適なオアシスを提供した。
あいち花マルシェ2022への参画はじめ、新しいターゲットを対象としたイベント実施に積極的に取り組んだ。
営業施設の運営では、飲食メニューに工夫を凝らし大幅な収入増につなげ、単年度ではあるが収支で黒字となった。

施設の現状

久屋大通庭園

施設の現状

施設概要

久屋大通公園の最南端に位置し、「人々の憩いの場、交流・にぎわいの場」を基本コンセプトに、5つの屋外庭園と建物内のクリスタルガーデンの他、イタリアンレストランやカフェなどを備えた、市民の皆様がくつろぎ、楽しむことができる施設として、平成26年9月27日（土曜日）にリニューアルオープンしました。「久屋大通庭園フラリエ」という愛称は、公募により決定したもので、「ふらり」+「フラワー」+「アトリエ」の造語で、ふらりと立ち寄れる、花いっぱいのアトリエの意味です。

リニューアルにあたっては、民間活力の導入による新たな事業展開を図るため、積極的な民間投資を誘導し、事業者による柔軟な管理運営を可能としました。そのため、指定管理期間については、民間事業者ならではの柔軟かつ新たな視点から見た活用方法・事業内容を実施することが可能で、かつ、事業費の回収に十分な期間として10年としています。

市の収支状況(千円)（4年度決算見込み額）

支出			収入				
指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
33,709	-	33,709	6,092	-	27,617	33,709	—

特記事項

平成26年3月31日をもって、ランの館は閉館し、リニューアル工事ののち平成26年9月27日に無料施設として再オープンしました。

管理運営指標の状況

取組状況

指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入園者数	人	563,039	358,803	440,364	522,755

特記事項

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

久屋大通庭園における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

指定管理者	公益財団法人名古屋市みどりの協会		
主な業務内容	久屋大通庭園の管理運営業務		
評価対象期間	平成26年4月～令和5年3月	指定管理期間	平成26年4月～令和6年3月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分										特記事項
1 管理体制	26	27	28	29	30	元	2	3	4		【元年度】指定管理者、テナントが協力して、施設全体で円滑な運営が行われている。 【2年度】指定管理者、テナントが協力して、施設全体で円滑な運営が行われている。 【3年度】指定管理者、テナントが協力して、施設全体で円滑な運営が行われている。
適切な職員配置										○	
緊急時の体制	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	
人材育成										○	
2 維持管理	26	27	28	29	30	元	2	3	4		【元年度】都心の憩いの場、交流・にぎわいの場として、年間計画に沿ってきめ細かな維持管理がなされており、利用者の満足度も高い。また、芝刈りなど一部業務を職員で実施するなど職員の技術力向上及び経費節減にも努めるとともに、庭園サポート・花の手入れボランティアなど多様なボランティアの活用がなされている。 【2年度】都心の憩いの場、交流・にぎわいの場として、年間計画に沿ってきめ細かな維持管理がなされており、利用者の満足度も高い。また、園路階段段差の解消や配管の修繕はじめ、利用者の安全・利便性に配慮しきめ細かく維持管理を実施するとともに、庭園サポート・花の手入れボランティアなど多様なボランティアの活用がなされている。 【3年度】都心の憩いの場、交流・にぎわいの場として、年間計画に沿ってきめ細かな維持管理がなされており、利用者の満足度も高い。また、回廊床タイルやベンチの修繕はじめ、利用者の安全・利便性に配慮しきめ細かく維持管理を実施するとともに、庭園サポート・花の手入れボランティアなど多様なボランティアの活用がなされている。 【4年度】都心の憩いの場、交流・にぎわいの場として、年間計画に沿って、安全を意識した樹木管理、雑草のない美しい花壇管理がなされた。回廊床タイルやベンチの修繕はじめ、利用者の安全・利便性に配慮しきめ細かく維持管理を実施するとともに、毎週1回花ボランティアと花の植替えや花がら摘みなどを実施するなどボランティアと連携した取り組みがされた。
園内清掃										○	
樹木・花壇等の管理										◎	
建物・設備の管理										○	
保守・点検・小修繕	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
管理水準の維持										○	
関係書類の調製・保管										○	
市民との協働による活動										○	
3 運営管理	26	27	28	29	30	元	2	3	4		【元年度】アンケート内容を見直し、きめ細かく利用者ニーズの把握に努めた。 【2年度】アンケートやご意見箱により利用者のニーズを把握し、結果を分析し今後の対応を考えている。 【3年度】アンケートやご意見箱により利用者のニーズを把握し、結果を分析し今後の対応を考えている。
利用者アンケートの実施										○	
利用者ニーズの把握と反映										○	
接客・接遇向上の取組み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
苦情・要望に対する適切な処理										○	
個人情報の適切な管理										○	
4 魅力増進・利用促進	26	27	28	29	30	元	2	3	4		【元年度】引き続き、地域と連携したイベントを実施するとともに、新たに愛知県書店商業組合主催のイベントを開催するなど他施設等との連携に努めた。また、積極的にInstagramを活用するなどイベント情報等の積極的なPRに努めた。 【2年度】新型コロナの影響より多くが中止となったものの、引き続き地域と連携したイベントを企画するとともに、歩道沿に花壇・ハンギングバスケット設置などまちの景観向上を図った。また、積極的にInstagramを活用するなど積極的なPRに努めた。 【3年度】新型コロナの影響より中止となったイベントはあるものの、引き続き地域や他施設との連携に取り組むとともに、歩道沿に花壇・ハンギングバスケット設置などまちの景観向上を図った。また、積極的にInstagramを活用するなど積極的なPRに努めた。 【4年度】あいち花マルシェ2022への参画はじめ、新しいターゲットを対象としたイベントを開催した。
まちづくりへの貢献										○	
周辺地域や他施設との連携	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	
イベント、広報、PR										◎	

5 施設特有の管理	26	27	28	29	30	元	2	3	4	【元年度】季節に合わせた花壇や庭園づくりに努め、1年を通して楽しめる工夫を図った。ガーデンキッチンのテント・内装をリニューアルし、テナント収入の増加が図られた。 【2年度】豊明花き(株)の協力のもと、春はペチュニア、夏の花が少ない時期にミリオンベルを展示するなど季節に合わせた花壇や庭園づくりに努め、1年を通して楽しめる工夫を図っている。 【3年度】引き続き、豊明花き(株)の協力のもと「ぺちゅにあの庭」の演出、新しくパラグアイオニバスの展示、季節ごとにフォトスポットを設置するなど季節に合わせた花壇や庭園づくりに努め、1年を通して楽しめる工夫を図っている。 【4年度】赤いスイートピーの配置、花束のように咲かせたチューリップ、トケイソウとチョウマメによる「みどりのタワー」、パラグアイオニバスの展示など季節に合わせた花壇や庭園づくりに努め、1年を通して楽しめる工夫を図った。また、飲食メニューの工夫等により収入増となった。
庭園管理	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	
レストラン等営業施設の運営										◎
6 自主事業	26	27	28	29	30	元	2	3	4	
事業計画に基づく自主事業の実施	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
集客対策への効果										○
7 自己評価	26	27	28	29	30	元	2	3	4	【元年度】大型イベントに頼ることなく、年間を通した集客を目指している。 【2年度】履行確認表を作成し進捗状況を把握するとともに、結果を分析し課題を洗い出し次の計画に反映させている。 【3年度】履行確認表を作成し進捗状況を把握するとともに、結果を分析し課題を洗い出し次の計画に反映させている。 【4年度】利用者数は、目標の60万人には届かなかったが、前年比118.7%と増加した。
利用者数の増加										◎
法令・協定の遵守	○	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	
事業計画との比較分析										○

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成26年度	公共施設であることを意識したターゲットの考え方、公共施設の新しい形を模索しようとする姿勢は評価できる。 また、施設の基本コンセプト、テーマ性のある庭園管理で、無料公園でありながら、高いクオリティを維持し、提供していることは評価できる。 ニーズの把握・改善に努め、満足度向上につながる持続性を持った管理運営を期待する。
平成27年度	施設の基本コンセプト、テーマ性のある庭園管理で、高いクオリティを維持し、提供していることは評価できる。 リピート率が増えてきている点なども評価できる。今後はフラリエだからこそといえるような多様でありながら質の高いメニューの提供に長期的に取り組んでほしい。 適切な管理運営の中で、アンケートやモニター数の増加を含め、ニーズの把握・分析に努め、さらなる利用者の満足度向上を目指して欲しい。
平成28年度	季節ごとのテーマ性のあるイベント、展示会を開催しながら、高品質の空間を提供している点は評価できる。 一方、フラリエのコンセプトにどう近づけたのか、何を伝えるのかを明確にし、利用者の気づきなどを把握するために、アンケート内容の再検討をしてほしい。 また、公共性や公益性を担保しながら、フラリエならではの幅広い利用につなげていくため、SNSなどITを活用した積極的な広報や更なる分析、自己評価を加えて管理運営してほしい。 収支については、次の期間の具体的な増収計画をたて、改善を図るよう期待したい。
平成29年度	近年の名古屋駅への人の流れを考慮すると、頑張っており、クラウドファンディングを活用した新たな取り組みは評価できる。今後の栄地区再開発において、どのような役割が担えるか、考えていってほしい。 「～花と緑に囲まれたライフスタイルガーデン～」というコンセプトがイベント内容とかい離しないように注意して、軸がぶれないようにしっかりと保つことで、ブランディングの高まりにつなげてほしい。
平成30年度	立地条件を生かし、他施設、他団体、地域との連携による協働事業を積極的に実施するとともに、事業者間のつながりによる花きや庭園に関する催事などを展開し、コンセプトの深化に努めていることは評価できる。また、少人数のスタッフでSNSを活用した情報発信など魅力発信に努め、職員によるアンケート調査を実施するなど利用者満足度の向上に努めていることは評価できる。 収支バランスの改善に向けて工夫に努めるとともに、外国人観光客への訴求力の向上、リピーター対策、講習会・回遊性の分析などさらなるニーズの把握に努め、質の高い提案を続けて欲しい。

令和元年度	立地特性や施設の特徴を生かし、テーマ性のある花壇や各種イベント等を実施したり、周辺施設・他団体・市民と積極的に連携し事業に取り組んだりするなど来園者の満足度を上げる努力をしている点は評価できる。また、アンケート調査による来園者ニーズの把握、分析、対応策の実施や対応案の検討等の姿勢は評価できる。 全体的にはSNSなどによる情報発信の効果により来園者が増加したが、若い世代にも訴求する要素を検討し、引き続き若年層にも積極的にPRしていただくとともに、庭園と、カフェやショップとの相乗効果がさらに発揮されるように、工夫していただきたい。 コロナ対策で行動自粛を求められる中、都心部で交流や花と緑の演出を中心とする当公園でホッと一息つける屋外庭園は大変貴重な施設である。このような特徴ある公園での不測の事態の際のリスクマネジメントについて今後も研究を続けてほしい。
令和2年度	新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じた対応が求められる中で、様々な感染症対策を行い、利用者の安全確保とサービスの維持に努めながら、都心のオアシスとして、季節に応じた花苗の管理や樹木のせん定、芝生の管理を実施、四季を通じた魅力ある庭園の維持を図っており、いつ来ても花が楽しめるように工夫を行っている点は評価できる。 また、事業計画の内容を確実に実行するため履行確認表を作成していること、職場研修の受け入れや協力の実施、周辺施設や他団体と積極的に連携、フォトスポットを充実させるとともにSNSを活用し積極的にPRしていることは評価できる。 アンケートによると情報源としてインターネットが最大となっているためSNSを活用した発信を継続して進め、引き続き利用者アンケート等でニーズを把握するとともに、営業時間外のガーデンキッチンの空間が魅力アップにつながるような工夫や、栄地区・大須地区との回遊性の向上に向けて継続して頑張ってもらいたい。 イベントについては、常に評価と改善を行いながら企画し、さらなる魅力増進と利用促進を図られたい。
令和3年度	コロナの状況に応じた対応が求められる中で、様々な感染症対策を行い、利用者の安全確保とサービスの維持に努めながら、季節に応じた庭園を作り、平日・休日問わず一年を通して来園者に快適なオアシスを提供した点は評価できる。 また、パラグアイオニバスの展示やバタフライガーデンづくりなど新しいイベントに積極的に取り組んでいることも評価できる。 様々な周辺施設や他団体と連携し、事業に取り組まれており、引き続き、周辺施設、地域との周遊性向上に努めてほしい。 SNSでの発信により積極的にPRされており、今後も公園の利用促進につながる情報発信を継続されたい。
令和4年度	赤いスイートピーの配置、花束のように咲かせたチューリップ、トケイソウとチョウマメによる「みどりのタワー」、パラグアイオニバスの展示など季節に応じた庭園を作り、平日・休日問わず一年を通して来園者に快適なオアシスを提供した。 あいち花マルシェ2022への参画はじめ、新しいターゲットを対象としたイベント実施に積極的に取り組んだ。 営業施設の運営では、飲食メニューに工夫を凝らし大幅な収入増につなげ、単年度ではあるが収支で黒字となった。

3 利用状況等

具体的な取組みや成果等
【前半】平成26年9月27日に無料庭園としてリニューアルオープンし、魅力ある庭園管理やイベント・講習会を通して入園者数増に努めた。 【後半】季節ごと、テーマ性・デザイン性のある豊かな庭園管理、話題性のある展示などにより入園者数の増加に努めた。コロナ禍においても、来園者が楽しめるようイベントやマルシェなども対策を講じながら実施した。 《入園者数》平成26年度：346,381人 平成27年度：621,847人 平成28年度：632,356人 平成29年度：642,959人 平成30年度：550,482人 令和元年度：563,039人 令和2年度：358,803人 令和3年度：440,364人 令和4年度：522,755人

4 収支状況等

具体的な取組みや成果等
【前半】平成26年度から30年度の各年度において支出超過となったが、光熱水費の削減や、設備投資による建物管理費の削減などにより、平成29年度以降、支出超過の額は減少傾向にある。 【後半】指定管理料と収益施設からの収入を合わせた収入であるため、コロナ禍では厳しい状況であったが、店舗のリニューアルや新メニューなど魅力向上に努めた。庭園管理は、質を落とさず経費を抑えるため、花の種類を変えたり、寄附で補うなど工夫した。また令和3・4年度は「名古屋市市民参加みどりづくり事業」を活用して久屋大通庭園での緑の普及啓発事業（イベント）を実施した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
【前半】利用者へのアンケート結果では、「庭園満足度」において、おおむね9割の方から「大変満足」または「満足」の評価を得ており、利用者満足度は高い。 【後半】庭園植物管理・スタッフ対応サービス・庭園清潔美観に関する令和4年度アンケートでは、大変満足・満足と回答された割合が96%であり、庭園管理に対する利用者満足度が高い。「花がいつも違った種類できれいに手入れされている」などの意見をいただくなど、庭園管理の創意工夫が功を奏している。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等

【前半】

常に魅力発信に努め、市民意見やニーズの変化に的確に対応しながら、質の高い空間づくりを継続しており評価できる。また、立地特性を生かし、外部の資源（持ち込み型のイベント、展示など）を生かした運営がなされ、いつ訪れても花と緑に出会えるという「安心感」、「期待感」があり、5年間の改善は結果に出てきていると考える。

収益事業の果実を庭園管理に投入するという新しい管理モデルの先進的な事例でもあり、次の5年に向け、リピーター対策、収支バランスの改善など知恵を絞り、新たな投資や内容の転換を行って、更なる来園者の獲得に努めてほしい。

【後半】

収益施設はコロナの影響を大きく受けたが、その時々に合わせて店舗のリニューアルやメニュー・内容のリニューアルなどを行い、飽きさせない工夫を行った。

庭園管理においては、期間を通して季節ごとにテーマ性・デザイン性のある花壇をつくった。

パラグアイオニバスの展示やフォトスポットの充実、蘭・多肉植物・食虫植物など話題性の高いものの展示イベント、イベントに合わせてピアノを設置するなど、様々な工夫を行い来園者の増加に努めた。期間を通じてたびたび新聞やテレビで取り上げられるなど、巧みな話題づくりを行った。

花き関係者との連携による展示や商店街との連携によるハロウィンイベントなど協働においても、様々な取組みが見られた。